

令和元年度 森林保険審査第三者委員会審査概要

1. 概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構が行う水源林造成事業に係る森林保険契約に係る損害評価事務について、外部有識者により損害実地調査及び保険金の算定が妥当であるかについて審査を行った。

2. 開催日時及び場所

日 時：令和2年3月12日（木）15：00～17：00

場 所：森林整備センター役員会議室

3. 出席者

（委員）

千葉科学大学 大学院教授

野村 一正

市役所通り法律事務所 弁護士

竹内 克己

（一社）日本森林技術協会 上席技師

高橋 純一

（オブザーバー）

国立研究開発法人森林研究・整備機構 監事

鈴木 直子

（森林保険センター）

森林保険センター 所長

石原 聡

森林保険センター 保険業務部長

福本 浩一

（事務局）

森林保険センター リスク管理室長

奥谷 敏明

森林保険センター 保険業務課長

内海 和徳

4. 結果

委員の互選により野村一正氏を委員長に選出した。

事務局より（ア）森林保険と水源林造成事業の概要、（イ）水源林造成事業の損害填補の状況及び事例について説明があった。

平成31年2月から令和2年1月までに水源林造成事業に対して保険金支払のあった241件のうち、支払件数の多い干害、水害、凍害の中から保険金支払額が最大のもの各1事例と、委員より選出された3事例の計6事例について審査を行った。

その結果、令和元年度の水源林造成事業にかかる損害填補については、実地調査ならびに保険金の算定に関して指摘すべき問題点はなく、適正に処理されており妥当であるとされた。

次回の委員会は令和3年2月に開催する予定。